令和5年度 旭美容専門学校 第一回学校関係者評価委員会

会 議 報 告 書

日　時　：　　令和5年8月3日（木曜日）　14：00～ 15：10
場　所　：　　旭美容専門学校　会議室　　電話059-228-2264
参加者　：　　杉田真一委員長、山端 公喜委員、長島 正美委員、中林 巳佳委員
(学校より)　　長谷川雅敏校長、　溝口智紀副理事長、　河村久美教務部長
(司会)中尾孝子事務長
欠席者　：　　吉村　太委員

報告資料：　　資料１　令和5年度旭美容専門学校　第一回学校関係者評価委員会
会議資料
資料2 [旭美容専門学校関係者評価委員会] 自己点検評価表
資料3　**学生アンケート** 1

1.　開会　配布資料の確認　（司会）

2.　校長挨拶

3.　学校関係者評価委員の紹介　学校参加者の紹介

4. 議長の選任　　杉田 真一委員長を議長に選任。ご挨拶の後、議事に入る

議　事

1)自己点検・評価結果の報告と質疑応答

各担当者より資料２ 自己点検評価結果の**変更点･改善点を中心に報告がなされた。**

まず、溝口副理事長が（1）教育理念・目標（２）学校運営について説明。

(1)-2・学校における職業教育の特色について・・・

3 つの特色がある。更なる向上を目指し PDCA サイクルをまわし、新時代への対応・多様性への対応を図っている。

(1)-3・学校の理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・学生・関係業界保護者等に周知がなされているか・・・

「建学の精神」や「教育目標」は**学生**手帳をデジタル学生手帳に変更、HP にて公開し、ワンクリックで見られるように。生徒・学生はもとより関係業界、保護者等に周知できた。

(2)-5・・情報システム化等による業務の効率化が図られているか・・・・

本年度よりネット出願に完全に移行し、 今のところスムーズに運用している。

続いて河村教務部長より（3）教育活動（4）学修成果について説明。

(3)-2・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか？

各学年・学期毎に到達レベルを定め取り組んでいる。今年からe-ラーニングを取り入れている。

(3)-3・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか・・・

美容科・トータルエステティック科(以下、Tエステ科)とも現場で役立つカリキュラムを体系的に編成している。美容科はコース選択により進路にあわせた授業も選べる。Tエステ科は専攻コースでより上級資格を、またスチューデントサロンで実践体験をしている。教育課程編成委員会の意見を今後も取り入れている

(3)-4・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているかについて・・・・

三重県信用保証協会との連携事業として、創業セミナーを開催している。深く勉強したい学生は創業カレッジを開校、自由に参加できる。
インターンシップを年2回に増やした。

(3)-6・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか・・・

演習①で福祉美容・介護美容について学び始めたが、今年度より、介護職員初任者研修を資格も取得できることになった。

(3)-9・人材育成目標達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・・・・

今後も時勢に沿って活躍するアーティストによる特別授業の取り入れを実施していく必要がある　e-ラーニングの活用、一人一台、Ipad導入、コラージュを作ったりデザイン画作成などに活用

(3)-10・職員の能力開発のための研修等行われているか・・・

別添資料17頁により昨年度研修状況を説明、受講した専門的知識の共有につとめる 本年度はヘッドスパの即戦力養成講習に参加する

(4)-3 退学率の低減が図られているか・・・

外部スクール・カウンセラーとの連携により学生サポートを図った。複数担任生を導入。（4人が2クラスをローテーションで管理）学生に対し多方面からのサポートをすることにより、学生のモチベーション低下や、小さな変化にチームとして対応する。

(4)-5・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか・・・

一部の卒業生の把握はできており改善に役立てている。サロン協力会を活用し、現場とのコミュニケーションを取る。SNSを通じて卒業生、業界の把握、改善に活用する。

続いて溝口副理事長が大項目(5)の 学生支援と(6)教育環境の更点・改善点などを説明。

(5)-4・学生の健康管理を担う組織体制はあるか・・・・

新型コロナ対策本部→パンデミック対策本部に名称変更

(5)-5・学生の生活環境への支援は行われているか・・・・

女子寮、無料化により多くの希望者が出ている。

(5)-7・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか・・・・

学び直し支援を目的に「専門実践教育訓練講座」を開設している。Tエステ科を専修学校におけるキャリア形成促進プログラムとして申請準備中である

(6)-2・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか・・・・

今年は国内での研修旅行を実施、インターンシップは年に2回計画、Tエステ科は海外研修再開の方向で調整中。

次に中尾事務長が（６）教育環境（７）学生の受け入れ募集（８）財務（９）法令の遵守（１０）社会・地域貢献（１１）国際交流について説明した。

(7)-1・学生募集活動は、適正に行われているか・・・

ネット出願に変更・定員数を変更した(高等課程5減・専門課程5増)

(7)-2・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

ガイダンス・オープンキャンパスにおいて十分伝えられている 出身校にも伝えられている　学び直し、社会人受け入れも増えている

(7)-3・学納金は妥当なものとなっているか

物価高騰のため教材費の見直し

(8)-4・各・財務情報公開の体制整備はできているか・・・・

本校事務所にて閲覧可能である　ネット上での公開を検討していく

(9)-1・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

適正に運営されている。顧問弁護士と契約している

(9)-2・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

管理体制・セキュリティーの更なる強化ウイルス対策を行っている

⑽社会貢献・地域貢献、

(10)-1・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか・・・・

ヘアドネーション活動を学校として行なっている。昨日も希望者が来校し教員が施術した。その様子をTikTok(SNS)にアップしたところ40万再生という反響があった。

(10)-2・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか・・・・

地域貢献としては、津まつり支援、松阪の子どもの城・キッズお仕事広場で美容のお仕事体験会を長く続けているが、その参加者が時を経て本校に入学してきて驚いた。地道な活動であるが今後も続けたい。 老人施設に訪問し福祉美容を提供している。高齢者との交流からボランティア意識を高めたい。

⑾国際交流

⑾-1.・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか・・・

留学生は在籍していない

続けて中尾事務長はCHA(中部ヘアスタイル・アワード)で本校学生がブランプリを受賞し、来週市長を表敬訪問することと、

資料3　学生アンケートの結果について以下の通り報告した。

「毎年実施している学生アンケートを22年度も全学生に実施。1.わかりやすく学べる授業が行われていましたか? の設問に対して当てはまるが78.93%、ややあてはまるが16.17%と非常に満足度となった。他の質問も概ね良好である。印象に残ったイベント、授業対する要望も別表の通りあったのであったので今後に活かしたい」。

学校側から説明が終わり、議長は各委員に意見を求めた。

意見・質問

山端委員　　「インターンシップを年2回に増やされたとのことですが、二つの企業で研修するのか?」
溝口副理事長　「はい、二つのサロン経験値を高め視野を広げることを目的にしている。」
長島委員　「大学サークル等で問題行動(薬物使用等)」が話題になっているが、本校の道徳教育・風紀や風紀始動に感とする考え方はどうか?
溝口副理事長　校則として新たに設けた部分もあるが「建学の精神、ヒューマンビューティー(より美しく生きる)は、言葉だけだと綺麗事に見えるが、人としてどうなのかという根本的な部分、人としての成長に一番力を入れている。やんちゃな学生達も、旭を出たら、さすがは旭さん、といわれる人づくりをしたい。技術だけではない。挨拶面、言われなくても自分から動ける人材に育てたい。
中林委員　ヘアドネーションの取り組みはすばらしい。
杉田委員長　ライオンズクラブなども、ずいぶん前から取り組んでおり、認知度も増えている。

長島委員　職場訪問に関してですが、先日、他校生が4人で来訪してきた。質問も特になく、折角の機会に非常にもったいないなと感じた。何軒以上回るノルマがあったらしい。事前学習をし、しっかりと心構えを持った上で参加してほしい。
長谷川理事長　本校では、キャリア教育で職場訪問の意味をしっかり理解させた上で実施している。
杉田委員長　折角の機会ですから、学校の先生の方からも委員の先生方に聞いてみたいこととがあれば発言ください。
河村教務部長　　業界の皆さんはどんな学生を欲しいと思っているのか、具体的にご教授してほしい。
中林委員　何より人間性が大切。客商売であるので挨拶も笑顔でしっかりとできるように。都会の学校はタトゥーなどしている人が増えているのが気に掛かる。
ここの学生は気持ちいい挨拶ができている。あと、技術指導を受け入れる素直な心も大切。
長島委員　意識の高い人を育てる学校を目指してほしい。オリジナリティや特色作りを考える。親の立場から考えると、安心して任せられる学校、誰でも知ってるブランド力、任せて安心な学校。
山端委員　働き方改革と少子化が進む中で、サロンオーナーが集まってアカデミーを作るような動きもある。
河村教務部長　技術職であるため美容師はどうしても時間的拘束が長くなるので、営業時間内にアカデミーを開講して訓練を実施しているサロンがある事は理解している。
杉田委員長　学校にとって、先生と学生との信頼や絆をいかにしっかり築くことができるかが大切だと思もいます。協調性や自立性、仕事に対する責任をしっかり持って取り組むことも大切です。そのためにはこの仕事を好きになり、やる気になって無我夢中にで取り組むこと。そうすれば向上心が生まれ良い関係が生まれると考えます。

2) 学校関係者評価の判定(評価)

委員長は各委員に別紙評価表に適切・不適切の記入を促し、記入ご提出いただいた。

結果は別紙(全員が全項目適切)

3) 議長より　　皆様のご協力のおかげで無事、令和 5 年度第一回目の旭美容専門学校学校関係者評価委員会の議事を終了することが出来ました。それでは以後は司会者にお願いします。

4)事務局より　　杉田議長様ありがとうございました。連絡事項ですが、今日の会議報告書は HP にて公開させていただきますのでまたご確認ください。

4. 閉会　　これを持ちまして第一回「旭美容専門学校 学校関係者評価委員会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。